

# あいさつ



愛西市議会議長  
島 田 浩



愛西市長  
日 永 貴 章

あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、令和3年の初春を清々しい気持ちでお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は、市政に対し格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、世界中で新型コロナウイルスへの感染が拡大し、未だ私たちの社会生活に多大な影響を及ぼしています。本市といたしましても、生活の維持・回復、事業者などの事業継続の一助となるよう様々な施策を実施してまいりました。引き続き、感染防止に向け、取り組むと共に、新しい生活様式によるデジタル化等の波を的確に捉え進んでいかなければなりません。市民の皆様には、長期間に及ぶ感染症予防に係る取り組みに対しまして、ご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。日頃から、市議会活動に対し、多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、世界中が新型コロナウイルスの危機に直面し、日本におきましても、オリンピックの延期が決定され、緊急事態宣言が全国で対象となるなど、先の見えない深刻な状況に、市民の皆様も大きな不安を感じられたと思います。新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表すとともに、感染された方々やそのご家族に対して、心からお見舞いを申し上げます。

こうした厳しい社会情勢の中、市政に携わる私たちは、住民福祉の向上や地域の発展に尽力し、輝かしい愛西市の未来を築いていく責務を負って

また、この困難な状況の中、感染症対策に心温まる多くのご厚志をお寄せいただきましたことに、改めて深く感謝申し上げます。人と人とのつながりや交流が、私たちの生活に必要不可欠であり、鼓舞激励することを実感いたしました。

市では現在、道の駅「立田ふれあいの里」や「森川花はす田」などを活かした「道の駅周辺整備基本計画」を策定し、多くの人が集い、賑わい、交流し、更には、観光拠点となるよう計画を進めています。第2次愛西市総合計画の将来都市像である「ひとと・自然・愛があふれるまち」の実現に向け、「ひと」と「自然」を誇りに思い、愛し、次世代に伝えていけるよう、加速する社会変革にも柔軟に対応しながら、歩みを続けて参ります。

本年が、皆様にとって健康で幸せな年となりますよう心よりお祈り申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

おります。市議会におきましても、市民の皆様の命と健康を守るために、議場傍聴席への飛沫防止アクリル板の設置をはじめ、さまざまな感染症対策を講じてきましたが、かつてない時代の転換期を迎へ、時代に即した議会運営についても更なる検討が必要な時期を迎えていると感じております。今後は、過去の経験や発想にとらわれることなく、より一層、市民の皆様の声に耳を傾け、ご期待に応えられるよう全力を尽くしてまいります。

結びにあたり、今後とも市議会に対しまして、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げるとともに、市民の皆様のご健勝をご多幸を心よりご祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。